

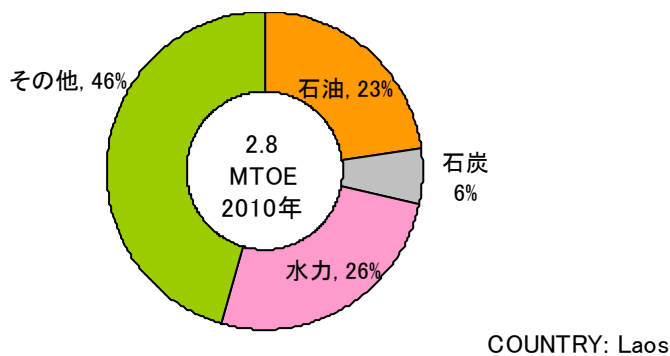
1-10 ラオス

1. サマリー

1. エネルギー事情

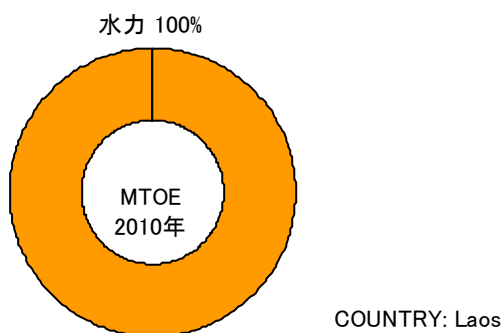
- (1) 一次エネルギー供給量 (2010年) : 2.79 百万 TOE (日本の 0.6%)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2010年) : 0.45TOE (日本の 11.5%)
- (3) エネルギー自給率 (2010年) : 101.4%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 1.19 百万 CO₂ 換算 ton¹、(日本の 0.1%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 0.19 CO₂ 換算 ton (日本の 2.1%)
- (6) エネルギー別可採年数 : 該当なし

一次エネルギー供給構成 (2010年)



(出所) Lao PDR Ministry of Mines and Energy

発電電力量構成 (2010年)



(出所) Lao PDR Ministry of Mines and Energy

¹ EIA, International Energy Statistics 参照

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー鉱山省 (MEM : Ministry of Energy and Mines) がエネルギー及び鉱業分野を所管している。MEM 内の電力局 (Department of Electricity : DOE) が、エネルギー政策の策定、関連する法律・規制などの執行、電力事業者の管理・監督、地方電化などを担当している。また、2006 年に設立されたエネルギー振興開発局 (Department of Energy Promotion and Development : EPD) が電源開発全般の促進と IPP プロジェクトの開発を担当し、IPP 開発の推進、提案されたプロジェクトの審査、場合によっては各種契約・合意事項の調整などを任っている。

(2) 基本政策

- ラオスは電力セクターを経済の重要な部門と位置づけており、以下の点を電力セクターの基本方針として挙げている。
 - ① 経済的、社会的発展を促進するため、経済性、信頼性、持続性のある電力供給の維持拡大を図る。
 - ② 貧困撲滅を重視した政府の開発目標を行う財源確保のため、電源開発を促進し、電力輸出を拡大する。
 - ③ 官、民、あるいは官と民のパートナーシップにより電力セクターの開発を効果的なものにするため法規制の整備・強化を図る。
 - ④ 国際水準の技術、ノウハウや経験を構築しながら自国の能力を向上させる。
 - ⑤ 環境や社会に対する影響に関する説明責任と透明化を明確化し、持続可能な発展を達成する。

(3) 最近の動向

- 2012 年 11 月、ラオス政府は、Xayaburi 水力発電所 (1260MW) の建設着工を発表した。コスト US\$35 億。2019 年に運開予定で、95%はタイへ輸出される予定。ベトナムやカンボジア等周辺国は下流地域への社会・環境・経済的な影響を懸念している。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- 日本はラオスの電力事業において技術協力を行っている。例えば、2012 年 5 月から 2013 年 6 月までの約 13 ヶ月間、中部電力は、ラオスの電力開発計画の実現を支援する国際協力機構 (JICA) のコンサルティング業務を J パワー (電源開発) と共同で行う。沖縄電力は、NEDO の委託で、ラオス国内での太陽光発電マイクログリッドシステムの実証研究設備を整え、2010 年 4 月、実証試験を開始した。
- 関西電力は Nam Ngiep1 水力発電所 (容量 260MW) の IPP 事業を行う。EGAT (タイ発電公社) などと協力して 2018 年操業を目指しており、3 者 (EGAT、関西電力、ラオス政府) で 2007 年に電力購入に関する MOU を締結済みである。

2. 主要エネルギー指標

(2010年)

(1)	一次エネルギー供給量	279	MTOE (日本の 0.6%)
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	0.45	TOE/人 (日本の 11.5%)
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.80	TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	101.4	%
(5)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量 (2010年)	1.19	百万 CO ₂ 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量 (2010年)	0.19	CO ₂ 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率		
	石炭	5.6	%
	石油	22.7	%
	天然ガス	—	%
	原子力	—	%
	水力	26.0	%
	再生可能エネルギー等	45.6	%
(8)	エネルギーの輸入依存度	-1.4	%
(9)	石油の輸入依存度	100	%
(10)	輸入原油の中東依存度	—	%
(11)	原油輸入先		
	第1位	—	
	第2位	—	
	第3位	—	

(注) 再生可能エネルギー等は固形燃料 (主に薪炭)。

(出所) Lao PDR Ministry of Mines and Energy (5)、(6) EIA、Country Analysis Brief - Laos